

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

山 手福山合戦太鼓は発足20周年の節目を今年迎え、11月9日、記念行事として山手公民館で演奏会を開きました。

平成元年に地域に根ざした郷土芸能として発足し、以来20年間、和太鼓を通じて子どもたちに歴史ある郷土への理解と、誇りをもたせるとともに、性別や年齢に関係なく力を合わせて演奏する喜びを感じることでできる活動に取り組んできました。

20年間の演奏活動の中心になっている曲「飛翔」や、660年ほど前に福山で繰り広げられた福山合戦の戦いの様子を曲にした「福山合戦」など5曲を演奏。児童部と青年部はこの日を楽しみに練習を重ね、勇壮で力強い演奏を発表できました。会場から大きな拍手をいただき、会員たちの大きな自信になったようです。また、応援にかけつけて



力強い響きが観客を魅了した

くださった備中温羅太鼓の皆さんも素敵な演奏がありがとつございました。これからも充実した演奏活動を目指して練習をがんばっていきます。

山手地区の郷土芸能として応援していただけただけです。お忙しいなか、演奏を聴きにきてくださった皆さん、ありがとうございました。

(山手福山合戦太鼓代表 友野義和さん・岡合)

歯 科医師や歯科技工士が集まり企画した「吉備路お口の健康まつり」を11月30日、天満屋ハピ

タウンリブ総社店で開きました。

歯の大切さを再認識してもらおうと、2年前から毎年この時期に実施してきました。会場には、お口の健康相談をはじめ、顕微鏡で虫歯菌を見たり、虫歯のできやすさをチェックしたりするコーナーを設けました。

まつりに参加してくださった皆さんに私たちは、「自分の歯で、生涯にわたって食事をするためには、正しい歯磨きをするなど日ごろからの予防が大切です」と、精一杯お話をさせていただきました。皆さんも、自分の歯を大切にしてください。

(吉備歯科医師会 宮脇清さん・清音軽部)



虫歯菌の話聞く子どもたち

↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

市 民 憲 章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るい家庭をきずきましょう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましょう。

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ

今年の成人記念式実行委員会委員長を務める

忠田 彩花さん (三輪)

1月11日に行われる成人記念式を自分たちの手で盛り上げようと、新成人による実行委員会が結成された。その実行委員長として式の企画運営に携わるのが忠田彩花さんだ。

今年の式のテーマは「カラフルく過去・現在・未来」。実行委員14人が何度集まり、全員の意見を重ね合わせて決めた。どんな色も、混ぜ合わせることで、いろんな色に変化させることができる。「色とりどりの個性をもった新成人が、これから社会に出て、いろんな人と出会い、関わることで、自分らしい色を見つけてほしい」との思いを込めた」と、話す。

大人の仲間入りの第一歩として、社会に貢献できる取り組みも企画した。ペットボトルのふたを回収し、得たお金をワクチン代にす

るという全国的な活動に、新成人みんなで取り組むというもの。「1人1個でもいいので協力してほしい」と呼び掛ける。

式も間近に迫り、実行委員会のメンバーと入念な打ち合わせを行う忠田さん、「たいへんだけど、メンバーみんなが同じ方向を向いて、活発な意見を出し合ってくれたから、形が見えてきた。みんなのおかげ」と、感謝の気持ちを表す。

忠田さんは、現在、山陽学園短期大学の幼児教育科で学ぶ。将来は、幼稚園の教諭になりたいと。「子どもたちの未来の基盤をしっかり作ってあげたい」と、夢を膨らませる。そのためには、「社会人として、責任をもち、自分に厳しく、社会貢献できる大人になること」と、成人としての決意を語ってくれた。

インタビュー
i n t e r v i e w

輝いている人

責任をもち、自分に厳しく、社会貢献できる大人になりたい

